

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立笠岡商業高等学校		
実践者等	矢部大輔	実践日	令和3年12月3日～7日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	商業・財務会計Ⅰ②		
対象生徒(学年等)	2年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	財務諸表活用の基礎		
使用したアプリ等	スプレッドシート、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)		
実践の概要(ねらい等)	端末を活用し、EDINETから有価証券報告書を閲覧し、企業の財政状態及び経営状況の良否を判断できる能力を育てる。		
実践の内容			
<p>(本授業は3時間で実践したものです)</p> <p>(1) 前時の学習内容確認 EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)から有価証券報告書を閲覧する方法を確認。</p> <p>(2) 課題提示 「興味がある企業の財政状態と経営成績を分析する」</p> <p>① EDINETに有価証券報告書が掲載されている企業の中から、財政状態と経営成績を分析したい企業を1社選ぶ。</p> <p>② 貸借対照表と損益計算書から次の金額を検索し、分析シート(スプレッドシート)に転記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流動資産(当座資産、棚卸資産、その他資産)、固定資産、流動負債、固定負債、純資産、総資本(他人資本、自己資本)、売上原価、その他費用、当期純利益、売上高、その他収益 <p>③ スプレッドシートには、あらかじめ計算式を入力しておき、下記の数値を算出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性分析(流動比率、当座比率、自己資産比率、固定比率、負債比率) ・収益性分析(売上高純利益率、売上高総利益率、売上原価率、商品回転率、受取勘定回転率、固定資産回転率、自己資本回転率、総資本回転率、自己資本利益率、総資本利益率) <p>(3) 分析結果まとめ 調査した企業の財政状態と経営成績から分かることをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期の支払能力は十分か ・長期の支払能力から財務体質は安定しているか ・売上高に対する利益の金額は妥当か ・投下資本の動きはどうか 等 <p>(4) グループで調査した内容を発表 調査した企業の分析結果をグループで発表する。</p>			
参考となるHP等	EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム) https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/		

